



グーグル日本法人、2時間で災害サイト

出典：日本経済新聞 2011年4月3日 朝刊 企業面

名称	内容
パーソンファインダー	安否情報を簡単に検索・登録でき、60万件を超える情報集める
避難所名簿共有サービス	避難所の名簿写真を写真で掲示。パーソンファインダーに転載も
ユーチューブ消息情報チャンネル	TBSなどと連携し動画共有サイトに被災者のメッセージを集約
避難所・生活情報配信	避難所の住所や収容人数、炊き出しの場所などを現地からの情報をもとに掲載
自動車・通行実績情報マップ	前日に通行実績のあった道路を青、なかった道路を灰色で表示



	従来型：公的機関など (交通管制システムなど)	トレンド：個人向け・参加型 (投稿サイト、ツイッターなど)
信頼性 プライバシー	固いシステム 提供者の社会的責任	柔らかいシステム 利用者の自己責任
構造	専用システム 機器・組織	事業者 プラットフォーム 利用者 情報、アプリケーション
新技術 新サービス	遅い 合意形成・技術検証	早い 問題あれば撤退
課題	対応能力の限界 社会変化 膨大な情報 きめ細かなサービス	信頼性・信憑性の確保 デジタルディバイド対策 使えない・判断できない 悪意の利用阻止



まとめ



東日本大震災への対応からの教訓

- ・ ITSを活用し通行実績情報と通行止め情報を提供
- ・ 課題： 既存の情報やシステムですら活用できない地域に根ざしたきめ細かな仕組みの構築
- ・ 環境変化： 情報通信ネットワーク社会の進展
自動車の電動化と電力需給システムの進化
- ・ 災害時専用システムでなく、日常システムの強化

今後のあり方の提案（ITS情報システムの観点）

- ・ 情報収集： 多様な組織が保有する情報の相互利用
- ・ 情報基盤化： フォーマットの統一と流通の仕組み作り
(分散型ネットワークによる情報共有)
- ・ 情報の活用： 公的サービスと利用者参加型情報交換の調和
日常サービスと災害時サービスのシステム共用